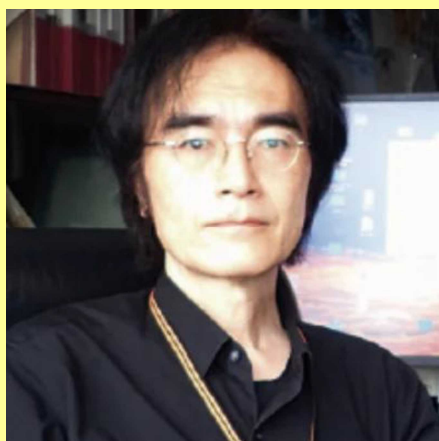




狛江で全身骨格の化石を大発見！

～コマギユウ(愛称)の研究と大絶滅～



講 師 甲能 直樹さん

国立科学博物館 生命史研究部 理学博士 生命史研究部長
筑波大学大学院 生命地球環境科学研究科 教授
日本古生物学会 理事
特別展「大絶滅展—生命史のビッグファイブ」監修



こまえ市民大学

およそ 130 万年前に生息していた海生哺乳類ステラーダイカイギュウの約 6 m の全身骨格が狛江市内の多摩川の川床に剥出した状態で発見されました！都内の高校の先生が発見したこの化石は生命史をつなぐ貴重なもので、公募により「コマギユウ」と名付けられ、国立科学博物館による特別展「大絶滅展」に展示されています。

「コマギユウ」化石の研究を通してわかったことは？、また生命の繁栄と絶滅を考えます。

※特別展「大絶滅展—生命史のビッグファイブ」東京・名古屋は終了し、大阪展は 2026 年 10 月 12 日まで

令和 8 年 8 月 29 日(土) 午後 2 時～4 時

会場 **こまえみらいテラス 中央公民館 2 階 講座室**

定員 50 名 受講料：200 円 (高校生以下無料)

令和 8 年 8 月 5 日(水) 午前 10 時から申込開始

電話・窓口・または右の二次元コードから Web にて
申込・お問合せ 中央公民館 ☎03-3488-4411

【休館日(第 1・3 火曜日) 除く午前 9 時～午後 5 時】



web 申込

主催：狛江市教育委員会(狛江市立公民館) 企画・運営：こまえ市民大学運営委員会